

# 月報 シオン山

2024年8月4日発行 (No407)

\*\*\*\*\*

## 日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

### 【月間聖句】

わたしは全能の神である。産めよ、増えよ。あなたから一つの国民、いや多くの国民の群れが起こり あなたの腰から王たちが出る。わたしは、アブラハムとイサクに与えた土地をあなたに与える。また、あなたに続く子孫にこの土地を与える。

創世記35章11～12節

### 少女達とアブラハムを学ぶ

持田文重

私は五年間の学生生活を終え、小倉に帰り小倉バプテスト教会(現在の小倉キリスト教会)に転入会して、約一年間、光来出政治先生、松子先生の元で教会生活を送りました。

しばらくして教会学校の幼稚科のお手伝いを見習いとしてする事になりました。ベテランの教師である川野隆子先生から色々な事を教えていただきました。

その年の夏休みに英彦山国民宿舎で2泊3日のキャンプがあり教会学校の先生と子供達の募集をしていました。

私は勧められて参加する事にしました。

教会学校の教師の経験も少ししかなく、私は子供がどちらかという

少し苦手でした。だから参加したもののキャンプには少し不安がありました。

キャンプは子供達にアブラハムの物語を教えるという事でした。私は4人の4年生の女の子と2泊3日同じ部屋に寝泊まりする事になりました。4人共、別の教会の子供達でした。

1日目と2日目、午前中に大広間で礼拝があり、礼拝が終わると、皆、部屋に帰りアブラハムの物語を学びました。

どんな方法でも良いからアブラハムの物語を知ってもらおうという事だったので、私は絵本と自分でアブラハムの物語についてくわしくレポート用紙に書いて持っていきました。

少女達はアブラハムの物語は4人共知らなかった様で、私のたどたどしい下手な説明を目を輝かせて、真剣に聞いてくれたのでとても嬉しかったです。学びの後、昼食を摂り、その後は山に登ったり川遊びをしたりして子供たちと楽しく過ごしました。夕方になると大広間で礼拝があり、その時、アブラハムには7人の子、という歌を歌い、踊りました。

2日目には覚えてしまいました。

夕食後、先生達はそれぞれその日の子供達の様子、学び等の報告をして、引き続き反省会があり、とても充実したプログラムの毎日でした。先生方との反省会以外は部屋でも外でも、ずっと4人の少女達と過ごし、皆ととても親しくなりました。子供達がこんなに可愛いと思った事は今までありませんでした。キャンプ前の不安もどこかに吹き飛んでしまいました。

2日目の夜は一晚中、雷が鳴り稲光が百回近くあり一睡もできませんでした。山の雷を初めて経験しました。一人の女の子が夜から歯が痛くなって大変でした。先生達の誰一人、鎮痛剤を持っていなくて

その子と一晚中何十回も雷が鳴る中、神様にお祈りしました。

朝になると、その子は顔の形が変わるほど頬が腫れていました。3日目は朝の礼拝が終わると少しお話があり解散でした。

考えてみると子供たちにアブラハムの物語を知ってもらい、神様の事を知るためのキャンプでしたが、私はそれよりも神様が子供が苦手な私のためにプレゼントして下さったキャンプと思えてしかたありませんでした。子供達と別れるのがとても辛くてキャンプが終わってからも手紙を交換したり、時々会ったりしました。この2泊3日の英彦山キャンプは一生忘れられない、私の心の宝になりました。後に主人と結婚し、家の教会で近所の子供達を迎えて教会学校を開いたときも、この時のキャンプの経験がとても役に立ちました。

子供達と一緒に神様を学ぶ事は私にとって神様からの大きなプレゼントだと思いました。